

新幹線鉄道システム

～高速鉄道の先駆的研究成果～

Shinkansen Railway System



①

昭和39年10月1日に東京～新大阪間で営業運転を開始した新幹線鉄道は、世界初の時速200kmを超える高速列車運転を実現し、欧米をはじめとする世界各国の鉄道に大きな影響を与えるとともに、その技術的な優秀性は海外でも高く評価された。そして、日本における高速鉄道輸送の時代の扉を開き、安全性・安定性に優れた高速大量輸送機関として、わが国の高度経済成長を支え多大な社会貢献を果たしてきた。

この新幹線鉄道システムの実現には、当時の日本国有鉄道技術陣の戦前からの長年にわたる検討や調査、研究といった努力の積み重ねがその基礎にあった。そのなかでも昭和32年の銀座ヤマハホールでの鉄道技術研究所の主催による講演会、同所職員による高速鉄道に関する地道な研究、昭和37年6月から39年4月までのモデル線（鴨宮～綾瀬間）を使用した高速走行試験など、同所関係者による実証研究や開発の取り組みは、特筆すべき事柄（高速走行に係る架空電車線とパンタグラフ、き電方式、自動列車制御装置に代表される信号保安、車両の運動や動力性能とブレーキ、など多岐にわたる成果）として挙げる事ができる。

この鉄道技術研究所による高速鉄道の先駆的な研究および新幹線鉄道システムに関する技術的裏づけの成果は、極めて高い技術的価値を有しており、鉄道技術史のみならず、広く技術史全般においても不朽の価値と輝きを持っている。

☆顕彰先 : 財団法人 鉄道総合技術研究所

☆所在地 : 〒185-8540
東京都国分寺市光町2-8-38

☆ホームページ : <http://www.rtri.or.jp/>

☆アクセス（最寄駅）: JR 国立駅北口より徒歩7分



②



③



④

(写真提供：(財) 鉄道総合技術研究所 他)

- ① 新幹線モデル線区における試運転開始式（昭和37年6月26日）
- ② 鉄道技術研究所50周年記念「東京～大阪間3時間への可能性」講演会情景（銀座ヤマハホール昭和32年5月30日）
- ③ 記念碑「新幹線の発祥地・鴨宮」（場所：鴨宮駅前、平成21年4月に地元関係者により建立）
- ④ 高速鉄道の研究の成果を示す各種の研究テーマに関する報告書（(財) 鉄道総合技術研究所の図書室に収蔵されている文献群）